

町内会・自治会会館整備補助制度利用団体

ヒアリング結果



平成31年3月

市民文化局市民活動推進課

新川通町内会 (川崎区)

●補助メニュー 建替

◇建築年月 昭和41年7月(旧)

◇建物概要 鉄骨造・1階建

延床面積 128.47 m²

◇会館整備費用 ￥32,724,000

◇補助金交付額 ￥8,000,000



新川通町内会館

●会館整備スケジュール

◇平成27年1月 会館の整備について本格的な検討を開始

- ・旧耐震の木造会館だったので、阪神・淡路大震災、東日本大震災を踏まえ、会館の建替えの話は以前から出ていた。
- ・平成27年度から市の補助制度が変わり、補助額が引き上げられたのを知り、建替えに向けて具体的に検討を始めた。
- ・建替を検討する中で、高齢者から2階建てで階段の上り下りが大変だという声があり、建替を機に平屋にすることにした。

◇5月15日 総会での決定～申請準備

- ・総会時に、簡単な図面と概算額を提示し、総会後に詳細を詰めていった。
- ・会館の老朽化の状況が共有されていて、総会では反対意見は出なかった。
- ・申請への準備と並行して、毎月8日に実施している役員会のほか、月2回程度、施工業者からの説明を出られる人だけで聞きながら進めた。
- ・会館整備に向けた積立等はしておらず、補助金と寄付と融資で賄おうという話になり、当初見込みを超えて寄付が集まった。

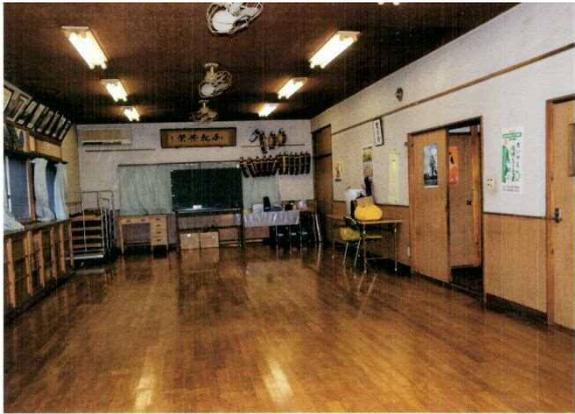
◇6月30日 申請

◇10月24日 着工

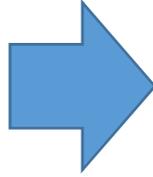
- ・8月に地元の神社のお祭りがあるため、着工はお祭りの後に設定した。
- ・工事期間中の代替施設として、近隣の自転車屋さんのご厚意で、お店の2階を安く借りることができた。

◇平成28年2月26日 完成

●主な整備箇所



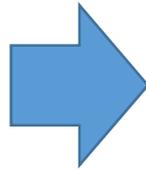
ホール（整備前）



ホール（整備後）



台所（整備前）



台所（整備後）

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・きれいになった、2階建てが平屋になって使いやすくなったと好評。

<会館利用の工夫など>

- ・平屋で広さが半分になったので、維持管理がしやすくなった。
- ・土足で入っても汚れにくいよう、入口にマットを敷いた。月1回1,000円を掃除してくれるグループ（婦人部）に渡しており、終了後、そのお金でお茶を飲んでいるようだ。
- ・和踊りなど靴を脱いで行う活動の際にむしろを敷いて使っている。
- ・1階と2階にそれぞれあったキッチンを1箇所にしたので手狭になったが、イベント時はお弁当を外部に頼むようにし、温かいお吸い物は作るなど、工夫している。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「市役所に何度も足を運んだが、歩いて10分ほどと近いこともあり大変ではなかったですね。きれいになった、使いやすくなったとみんなから喜ばれているので、嬉しい。（会長）」

●これから申請する団体へのアドバイス

「書類などで分からないことは自分で勝手に考えないで、きちんと聞いてやればそんなに難しくはないので、こまめに聞くといいですよ（会長）」

平成28年11月4日（金）、佐川会長にお話を伺いました。

蔵敷団地親和会 (宮前区)

●補助メニュー 建替

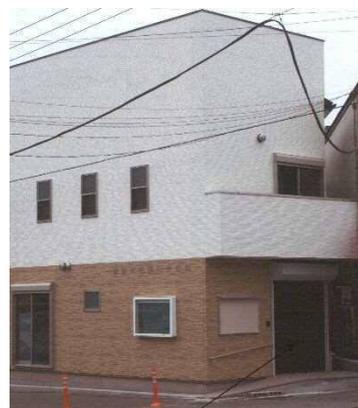
◇建築年月 昭和41年3月(旧)

◇建物概要 木造・2階建

延床面積 95.02 m²

◇会館整備費用 ￥20,401,200

◇補助金交付額 ￥8,000,000



蔵敷団地親和会会館

●会館整備スケジュール

◇平成23年～ 会館の整備について本格的な検討を開始

- ・平成23年に市が行った耐震診断で、大地震では倒壊する可能性が高いという結果が出たことから、町会内で新会館の建設への要望が高まった。
- ・平成25年1月に建設委員会を設置した。その後、自治会内でアンケートを実施し、新会館に関する意見・要望を集約し、併せて寄付を募った。
- ・市の補助制度がなくても耐震化する予定ではあったが、費用負担がかなり大きかったため、とても助かった。

◇平成27年4月29日 総会での決定～申請準備

- ・会館整備に向けた検討の進捗状況については、毎月の定期会で報告を継続した。
- ・設計士に依頼して作成した設計図に基づいて、2社から見積を依頼したが、設計士と業者との協議が長引き、見積書の取得に時間がかかった。
- ・総会では、建替後の平面図と概算額を提示し、以前からの会館積立金と、新たに募る寄付、補助金で賄うことを諮ったところ、補助制度を使って会館整備を行うことに対して、反対意見は出なかった。
- ・申請準備について、市役所に4、5回相談に行ったが、基本的には電話やメールでの市役所の担当者とのやりとりが多かった。

◇6月25日 申請

◇10月7日 着工

- ・工事期間中は、自治会関係者のつながりで空き家を有料で借りることができ、代替施設として使用していた。

◇平成28年2月26日 完成

●主な整備箇所



1階集会室



集会室パーテーション



2階集会室



階段

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・階段の幅を広くし、段差を低くしたことと、かねてから要望があったカラオケを導入したことにより、お年寄りの利用が増えた。
- ・囲碁盤や麻雀盤といった娯楽道具の寄付を受け、会館に来るのを楽しみにして住民が集まるようになった。

<会館利用の工夫など>

- ・パーテーションを設置し、空間を分けることにより、多くの団体が利用できるようにした。
- ・来年以降は新たな趣味の会の発足とコミュニティカフェの促進で、新たな交流の場として会員の親睦を図っていきたいと考えている。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「建築に詳しい人が町会内部にいなかったため、検討段階からかなり苦労しましたが、とにかく完成してよかった。特にお年寄りから好評をいただいております、大変喜んでおります。(会長)」

●これから申請する団体へのアドバイス

「会員の気持ちや要望をしっかり受け止め、それを実現するための努力をすれば、まず間違えることはありません。(会長)」

平成28年11月30日（水）、杉田会長、古賀副会長にお話を伺いました。

東百合丘町会 (麻生区)

●補助メニュー 新規取得

◇建築年月 平成27年12月

◇建物概要 木造・平屋

延床面積 86.12㎡

◇会館整備費用 ￥14,001,876

◇補助金交付額 ￥7,000,000



東百合丘町会会館

●会館整備スケジュール

◇平成27年3月 会館の整備について本格的な検討を開始

- ・自分たちの会館を持っていなかったため、会館建設に向けて、10年ほど前から毎年一定額の積立をするとともに、会館建設候補地を探していた。
- ・候補地の目途がついたため、平成26年11月に建設に向けての専門委員会として「会館建設委員会」を発足させ、具体的な検討を進めた。建設費の不足分についても議論し寄付金をもって補足する旨、結論とし、町会員の理解を得て多額の寄付金を頂くことができた。
- ・市の補助制度が変わり、新規取得に対し800万円を上限に補助されるようになったことを受けて、平成27年度中の建築に向けて、急速に準備を進めた。

◇平成27年4月26日 総会での決定～申請準備

- ・総会に向けて、毎月1回程度、建設委員会を開催するとともに、役員数名による話し合いを頻繁に行って準備を進めた。
- ・総会では、会館の新築にかかる概算額を示し、市の補助金と会館建設積立金、寄付金で賄うという資金計画を説明し、補助金が交付されなければ、会館建設を先送りすることも含め、了承を得た。
- ・市役所に行った回数は少なく、メールや電話で毎日のように市役所とやりとりし、不明な点や進め方を確認していた。
- ・建築確認済証の取得は、申請書類の中で最も時間を要し、申請から2か月程度かかった。

◇6月29日 申請

◇9月14日 着工

- ・地元の神社の祭礼が、終了した翌日から着工した。

◇平成27年12月12日 完成

●主な整備箇所



集会室（玄関側から撮影）



集会室（奥から撮影）



トイレ

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・町会活動、PTA、少年野球チームなど利用団体は数多く、きれいな建物で利用しやすい。

<会館利用の工夫など>

- ・会館ができる前は先代の副会長宅の離れを改修し、会館として間借りしていたが、会館を建てたおかげで、多くの団体に利用を拡大でき、防災訓練や応急救護など、以前と違う利用が可能になった。
- ・近隣の町内会等から会館利用の申し出があり、今後合同のイベント等を検討する予定。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「町会役員、会員や建設業者に対して補助金を申請しても交付の確約がないことを了解して頂いての見積もり依頼や会員への報告の仕方が難しかったです。会員の多くの方が寄付をしてくれたので、それぞれが建設に関わったという意識が生まれ、利用者の顔が明るくなったと思います。また、地元の業者が受注したので、地域が潤った感じもしますね。（会長）」

「天井が高く、広くて明るいので、みなさんにも好評。（会長）」

「書類の作成は大変だったが、市の担当者とメールにより書類内容の事前確認を行えたため、スムーズに準備を行えました。（副会長）」

●これから申請する団体へのアドバイス

「建設委員会などの有識者を集めた会を発足し、綿密に話し合いを行いました。準備をスピーディーに行うとともに、町会の配布物などで町会員に建設に向けての経過報告を随時行い、理解と協力を得ることが大切です。（副会長）」

平成28年11月28日（月）、松澤会長、田所副会長、鈴木様（会計ご担当）にお話を伺いました。

日進町町内会 (川崎区)

●補助メニュー その他改修等

(エレベーター新設工事)

◇建築年月 平成16年5月

◇建物概要 鉄骨造・2階

延床面積 250.62 m²

◇会館整備費用 ￥16,934,400

◇補助金交付額 ￥2,000,000



日進町町内会館

●会館整備スケジュール

◇平成26年12月 会館の整備について本格的な検討を開始

- ・足の不自由な高齢者や障がい者の方にも気軽に会館を利用してもらえるよう、エレベーターを設置してはどうかという話は以前から出ていた。
- ・市の補助制度の見直しが決まり、エレベーター設置工事も補助対象となることが分かった時点から、整備に向けて本格的に動き出した。
- ・まず準備委員会を立ち上げ、月2、3回程度話し合いを行って準備を進めた。
- ・当初は、エレベーターは不要だという意見も出されたが、今は元気でもいずれは利用するものと粘り強く説明を重ね、設置の合意を得るまでに、1年近くかかった。
- ・合意を得た後、エレベーターの設置場所について、複数案を比較検討し、内部が狭くならないよう外付けを選んだ。その結果、増築工事に該当することになり、建築確認を取らねばならず、十分な耐震性を確保する必要が生じて、当初の想定より整備費用が大幅に膨らんだが、業者も含めて何度も説明を重ねるなかで、次第に会員に納得してもらえるようになった。

◇平成27年4月17日 総会での決定～申請準備

- ・総会では、概算額を提示するとともに、エレベーターを外部設置とすることで合意を得た。
- ・会館の修繕等に充てる積立金と市からの補助金では、整備資金が不足したため、寄付を募った。エレベーターの増設について、丁寧に説明を重ねてきたことも功を奏して、想定していた以上に寄付が集まった。

◇6月9日 申請

◇8月10日 着工

◇10月1日 完成

●主な整備箇所



エレベーター設置前



設置後



エレベーター扉



エレベーター内部



内部には手すりや呼び出しボタンも

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・老人会、青年会、子ども会、婦人会、町内会員が住むマンションの管理組合の会合、カラオケ大会等で利用され、2～3か月先まで予約が埋まっている。設置前より、利用回数が3～4割増えただけでなく、個々のイベント等への来場者数も増加し、会館に集まる人が増えた。
- ・カラオケに来られるようになった等、利用者から喜ばれている。

<会館利用の工夫など>

- ・2階の床はタイルカーペットになっているが、足の不自由な人のことを考えて、スリッパに履き替えず、靴のまま使ってもらっている。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「エレベーター設置には反対意見も多く大変苦労しました。少し先を見れば、今は元気でも必要になる 때가来るといことで説得しました。足の不自由な方も会館に来られるようになり、皆さんの反応は大変良いですよ。(会長)」

●これから申請する団体へのアドバイス

「こういった話には反対する人も必ずいるので、いかに納得してもらえるように説明するかが大事だと思います。(防災部長)」

平成28年12月15日（木）、四方田会長、吉田防災部長にお話を伺いました。

宮崎町内会 (宮前区)

●補助メニュー その他改修等

(壁・床・トイレ・塗装工事等)

◇建築年月 昭和58年5月

◇建物概要 鉄筋コンクリート造

延床面積 172.82 m² (5階建の1階部分)

◇会館整備費用 ¥3,822,678

◇補助金交付額 ¥1,876,000



宮崎会館

●会館整備スケジュール

◇平成27年3月 会館の整備について本格的な検討を開始

- ・最初からマンションの中に入るかたちで設計された会館で、建築から30年ほど経ち、老朽化してきた。壁や床がひび割れたり、一部がはがれたりし、ふすまも傷んでいたが、これまであまり手を入れてこなかった。
- ・市から送られてきたパンフレットで、様々な改修工事に市から補助が出ることを知り、どこを直すか、会館改修検討委員会を立ち上げて、検討を始めた。
- ・検討委員会には役員だけではなく、春寿会（老人会）や子ども会の人にも委員に入ってもらい、検討を重ねた。卓球やダンス等、よく会館を使う人の意見も聞くようにし、みんなの意見を取り入れた。

◇平成27年4月11日 総会での決定～申請準備

- ・3月の三役会で方針を決定し、4月の総会で会館をリニューアルすることを決定した。
- ・総会の時点では、概算額が出ていなかったが、工事総額は400万円以内で、その半分が市から補助され、最大200万円を会館の積立金から使うと説明し、合意を得ることができた。費用の半分が市から補助されなければ、大掛かりな改修はできなかったと思う。

◇6月29日 申請

◇8月28日 着工

- ・盆踊りが終わり、施工業者さんの夏休み後に、着工した。
- ・全面休館は2週間ぐらい。定期的な利用者と事前に調整し、代替場所は用意しなかった。

◇10月31日 完成

●主な整備箇所



床タイルの亀裂・破損



床の張替



新しい倉庫扉



全体的に明るい雰囲気

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・ライトをLEDに替え、壁と床を張り替えたなら、少し暗いイメージがあった会館が明るくなり、気持ちよく、楽しく使えるようになったと喜ばれている。
- ・以前から空きがないほど使われていたため、利用者に変化はない。

<会館利用の工夫など>

- ・会館の利用者が多いので、町内会の急な打ち合わせなどに使えるよう、週1日は予約を入れないようにしている。
- ・もっと幅広く使ってもらえるように、会館運用規定の見直しを予定している。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「壁や床の張替は、新たに機能を付加するものではないので、費用対効果の見極めが難しかった。どこまできれいにするか、壊れた部分のみ直すのかの線引きで悩んだが、皆さんに喜ばれてよかったです。(会長)」

「中に入り、パッと見て、変わったと分かるのがうれしいです。(会館改修検討委員長)」

●これから申請する団体へのアドバイス

「子ども会のお母さんたちにカーテンの色を選んでもらうなど、会館に愛着を持ってもらえるよう、いつも使っている人の意見を取り入れるといいですよ。(会館改修検討委員長)」

平成28年11月29日(火)、都倉会長、平井様(会館改修検討委員長)にお話を伺いました。

根岸町会 (多摩区)

●補助メニュー その他改修等

(トイレ改修工事)

◇建築年月 昭和61年4月

◇建物概要 木造、2階建

延べ面積 86.39㎡

◇会館整備費用 ¥2,050,000

◇補助金交付額 ¥1,025,000



根岸町会会館

●会館整備スケジュール

◇平成27年3月 会館の整備について本格的な検討を開始

- ・10年前ほどからトイレの床面が傾き、壁面にひび割れが生じており、改修の話は出ていた。
- ・市から送られてきたパンフレットで、耐震化に限定されていた市の補助制度が、「耐震化を伴わない改修」も対象にすることを知り、トイレの改修に向けて動き出した。
- ・この会館を建てた地元の建築士の方に耐震性は大丈夫か見てもらったところ、ある程度の耐震性はあるということだったので、建替ではなく、長寿命化を選択した。
- ・男女兼用トイレで、女性から使いにくいという声が多かったため、男性用と女性用に分けることにした。

◇平成27年5月17日 総会での決定～申請準備

- ・トイレの不具合については、機会あるごとに役員会などで話しており、会員にも状況がよく理解されていたので、順調に進んだ。
- ・毎年、決算時の剰余金を会館積立金に繰り入れており、積立金の一部と補助金で整備できるということもあり、反対意見は出なかった。
- ・総会では、概算額を示すとともに、現在と改修後の平面図を資料として配布し、具体的に整備内容を伝えるようにした。

◇6月29日 申請

◇9月16日 着工

- ・工事期間が1か月程度かかり、親子運動会に重なったので、打合せ・反省会のときは部分的に使えるようにした。

◇10月27日 完成

●主な整備箇所



男女兼用だったトイレ



男子トイレ



ついに男女別トイレに



女子トイレ

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・女性用トイレが別になって、子ども会活動の利用が増え、お母さんや女の子に喜ばれている。
- ・トイレの引き戸のレールに足を引っかけないよう、ドアを天井吊りにしたほか、引き戸に磁石をつけて、戸の閉まる音を緩和するなど、細かい工夫をした点も利用者から好評だ。

<会館利用の工夫など>

- ・サッカークラブや野球チームのお楽しみ会など、以前から、町内会より広い地域の方に使われていた。
- ・地域のためになるのなら、地域外の人に来てもいいと考え、会館をもっと多くの人に知ってもらおうと、PTAのバザー会場等に使う場合は無料とするなど、会館の利用単価を下げた。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「男女別トイレに洗淨機付き便座も付き、段差もなくなり、とても喜ばれて、大成功！（会長）」
「実際にトイレの床をはがすまでは、床面の傾きの原因がつかめず、正確な見積もりが出ず、どのくらい費用がかかるのか不安でした。もっとお金をためて建替えるのか、改修で長持ちさせるのかの検討に最も苦労しました。（副会長）」

●これから申請する団体へのアドバイス

「申請書類の様式は、市のホームページからダウンロードできるので、パソコンを使える人に頼むと、書類の作成が楽になりますよ。（副会長）」

平成28年11月29日（火）、伊藤会長、金子副会長にお話を伺いました。

栗谷町会 (多摩区)

●補助メニュー その他改修等

(屋根葺き替え・シャッター取換・空調機
取付、階段塗装)

◇建築年月 昭和53年4月

◇建物概要 鉄骨造・2階建

延床面積 189.73 m²

◇会館整備費用 ￥2,663,106

◇補助金交付額 ￥1,324,000



栗谷町会会館

●会館整備スケジュール

◇平成27年3月 会館の整備について本格的な検討を開始

- ・以前から、役員の間では、屋根が傷んでいるのではないかという話が出ていたが、雨漏りまではしておらず、大騒ぎする状況ではなかった。
- ・市の補助制度が変わり、改修工事も助成の対象になったため、大工さんに診てもらったところ、屋根の修理や外階段の塗装をした方がいいということになり、話が進み始めた。

◇6月21日 臨時総会での決定～申請準備

- ・総会は既に終わっていたので、役員会を拡大して臨時総会を開くこととした。
- ・今回の改修工事はいずれも設計図面が不要であったため、総会で、屋根葺き替え工事、階段塗装、シャッター取換、エアコン取付工事、それぞれの内容と見積額を説明できるよう、準備した。
- ・工事代金に充てるため、会館改修及び災害対策用資金の積立金を一部取り崩すことについて、臨時総会で承認を得た。

◇6月29日 申請

◇7月27日 着工

- ・工事の時期については、屋根の工事があるので、できるだけビニールシートをかけなくて済むよう、台風と入梅の時期を避け、7月下旬から工事に入ることとした。
- ・2階建てなので、全館休館にしなくて済んだため、工事期間中も不自由はなかった。

◇10月31日 完成

●主な整備箇所



屋根葺き替え



シャッター



階段手すり塗装



空調機取付

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・ これまではエアコンの効きが悪く、1時間前くらいから来てエアコンをつけていたが、新たにエアコンを1台加えたため、すぐ暖かく（涼しく）なるようになったと好評。
- ・ 2階には舞台のあるホールがあり、定期的に町内会の福祉部のセミナー（終活セミナー、転倒防止体操）や健康に関する企業主催のセミナーが開催されているほか、近隣の保育園も使っているなど、従来から様々な利用がされており、大きな変化はない。

<会館利用の工夫など>

- ・ 既に1階の部屋をフローリングにするなど、利用しやすいよう、これまでも改修を行ってきた。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「市の補助を受けるのだから仕方がないとは思いますが、複数の業者から見積もりを取るのが大変で、実際の工事を頼むのは1社なのに見積もりを依頼するのは心苦しかった。（前会長）」
「申請にあたって、特に苦勞したということはないですね。（前会長）」

●これから申請する団体へのアドバイス

「改修工事に補助金をもらうのは、そんなに大変ではないですよ。これからも不具合のある箇所を少しずつ直していき、みんなが長く使える会館にしたいと思っています。（前会長）」

平成28年11月29日（火）、岸 前会長にお話を伺いました。

井田協友会 (中原区)

●補助メニュー その他改修等

(屋根・外壁塗装、内装クロス工事)

◇建築年月 平成13年4月

◇建物概要 木造、2階建

延床面積 66.03 m²

◇会館整備費用 ¥1,544,400

◇補助金交付額 ¥772,000



協友会館

●会館整備スケジュール

◇平成27年3月 会館の整備について本格的に考え始める

- ・建築から15年が経過し、2階部分では雨漏りが生じるなど、所々に傷みが生じていた。
- ・こどもの会館利用が多いことから、内装クロスが汚れで手垢まみれで汚れが目立ってきており、部屋全体も薄暗くなっていた。
- ・資金がないため、具体的な検討はしていなかったが、市の補助制度が変わり、改修工事も補助の対象になることを知り、本格的に改修工事に向けた準備を開始した。

◇平成27年4月11日 総会での決定～申請準備

- ・定例的に行っている常任理事会や理事会で、改修の範囲や予算等について、具体的に詰めていった。
- ・業者とも連絡を取り、金額の試算等を行い、総会資料を準備した。
- ・総会では特に異議なく、市の補助制度を利用して改修することについて理解を得られた。
- ・市の補助制度上は2社の見積を取るようになっていたが、実際に見積を取る際は、慎重をきたすため、3社から見積を取った。

◇9月15日 申請 (二次募集)

◇11月8日 着工

- ・業者と調整し、定例会を開催するときは工事作業を中断してもらい、会館の使用を継続した。

◇平成28年2月28日 完成

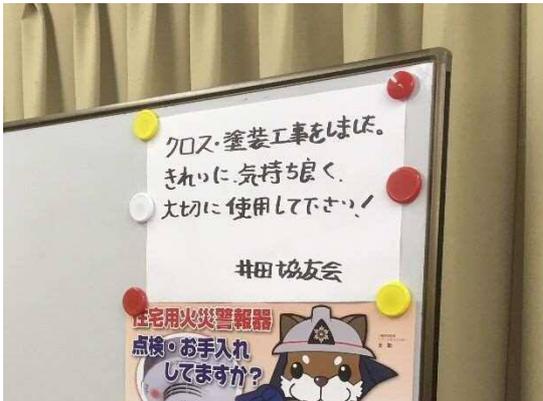
●主な整備箇所



会議室クロス



階段クロス



ホワイトボードにはこんな張り紙も



外壁塗装

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・近隣の町会、子ども会、老人会、おやじの会、井田中学校避難所運営会議、各種趣味のサークル等、借りたいという声は増えている。

<会館利用の工夫など>

- ・会館がきれいになったことをきっかけに、「老人いこいの家までは遠くて行けない」というお年寄りを呼び込み、健康体操や落語などを定期的で開催している。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「身近な区役所に書き方を相談に行けたので、書類作成に困ったことはなかったです。また、工事業者の対応も丁寧だったため、スムーズに工事を終えることができました。多くの利用者が喜んでおり、継続してきれいにしようという意識が芽生えつつあるのが嬉しいです。（会長）」

●これから申請する団体へのアドバイス

「地域活動の基礎となる場所なので、できるだけ積極的に多方面から話を聞いて、皆のニーズに合うような会館にすることが大事だと思います。（会長）」

平成28年11月30日（水）、松本会長にお話を伺いました。

五反田自治会 (多摩区)

●補助メニュー その他改修等

(床改修工事)

◇建築年月 昭和59年3月

◇建物概要 木造・1階

延床面積 66.03 m²

◇会館整備費用 ¥1,308,960

◇補助金交付額 ¥654,000



五反田会館

●会館整備スケジュール

◇平成27年3月 会館の整備について本格的な検討を開始

- ・改修前は和室で、使用のたびにテーブルや座布団を出し入れする手間がかかっており、足が悪い方が立ったり座ったりするのが大変だったので、床をフローリングにしようという話が以前から出ていた。
- ・ちょうどこの頃、自治会区域内にある医院から、地域のお役に立てばということでも額の寄付をいただいた。何に使おうかとみんなで考えた結果、市の補助制度も充実したので、寄付と補助金で床の改修工事を行おうという話になった。

◇平成27年4月26日 総会での決定～申請準備

- ・総会前に業者から見積もりを取るのに時間がかかった。
- ・寄付と補助金で賄うことができる見通しがたったので、総会に諮ることとし、総会では、床改修工事にどのくらいの費用がかかるかを伝えるとともに、市の補助制度を使う予定であると説明したところ、工事を行うことへの反対意見はなく、了承された。
- ・床の改修工事後には不要となるテーブルや座布団をどうするか、新しい備品をどれだけ購入しないといけないかなどについて議論した。

◇9月15日 申請 (二次募集)

◇平成28年2月8日 着工

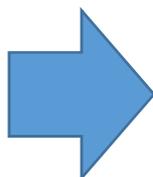
- ・工事期間が短かったため、工事中は会館を使用しなくても支障がなかった。

◇2月12日 完成

●主な整備箇所



和室（整備前）



フローリング（整備後）



廊下も
フローリングに
なりました



椅子と机が
置かれています

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・毎回しなければならなかったテーブルや座布団の片付けをする必要がなくなり、椅子が使えるようになったので、楽になったと好評。
- ・整備後、会館の利用頻度は増加した。
- ・保育園の保護者会やマンション管理組合の会合等への貸し出し回数も増えている。

<会館利用の工夫など>

- ・ヨガ教室や、小さなお子さん連れしてきた場合などは畳の方がよかったが、ヨガ教室の場合にはマットを敷くなどして対処している。
- ・不要となったテーブルは処分せず、地域の他の団体に寄付し、有効活用している。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

「整備費用が100万円以下の場合には補助制度の対象とはならないため、見積金額が出るまでは、補助がもらえるか不安でした。申請にあたって分からないことは、その都度市役所に聞いていたので、特に苦労したということはありません。使い勝手がよくなり、会員のみならず他の利用者からも好評を得ております。（会長）」

●これから申請する団体へのアドバイス

「1年先のことを考えて、どこをどのように直すか、事前準備をすることが大切。細かいことを決めるのは後でいいので、まずは専門家（業者）に相談したうえで、役員同士でしっかり協議するのがよいと思います。（会長）」

平成28年11月28日（月）、吉田会長にお話を伺いました。

西加瀬町内会 (中原区)

●補助メニュー 耐震改修等

◇建築年月 昭和55年10月

◇整備完了年月 平成29年1月

◇建物概要 木造・2階建

延床面積 121.39㎡

◇会館整備費用 ￥14,953,440

◇補助金交付額 ￥5,000,000



西加瀬町内会館

●会館整備スケジュール

◇平成27年4月 会館の整備について本格的な検討を開始

・当該制度が新しくなったことをきっかけに、検討を開始。

◇平成28年3月 耐震精密診断及び補強設計見積取得

◇平成28年4月 総会での決定～申請準備

◇平成28年5月 申請及び交付決定

◇平成28年6月 耐震精密診断・耐震補強計画委託契約

◇平成28年10月 工事請負契約

- ・耐震工事と併せて全面的なリフォーム工事を行った。
- ・玄関のバリアフリー化も検討したが、スペースが足りず断念した。
- ・工事期間中は近隣の自治会の集会所等を借りて対応した。

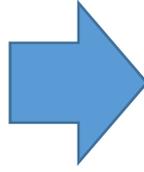
◇平成29年1月 完成



●主な整備箇所



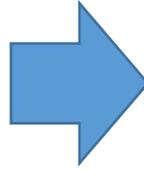
トイレ（整備前）



トイレ（整備後）



台所（整備前）



台所（整備後）

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

- ・きれいになったと利用者の皆が喜んでいる。昔からの利用者である高齢者からは特に好評を得ている。

<会館利用の工夫など>

- ・フローリングにしたことで、こどもが利用しやすくなり、こども関係の団体の利用が増えた。そうしたこともあって、こどもを対象とした書道教室も定期的で開催している。
- ・毎日午後は枠が全て埋まっており、利用の人气が高い。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

- ・書類作りが少し苦勞した。
- ・整備後、町内会の活動も活発になりよかった。

●これから申請する団体へのアドバイス

工事実施にあたり、積立をしておくことが大事。

平成30年3月15日（木）に内山会長にお話を伺いました。

桜本1丁目町内会館 (川崎区)

●補助メニュー 建替

◇旧建築年月 昭和40年9月

◇整備完了年月 平成29年12月

◇建物概要 木造 2階建

延床面積 132.66㎡

◇会館整備費用 ￥24,027,570

◇補助金交付額 ￥8,000,000



桜本1丁目町内会館

●会館整備スケジュール

◇平成28年3月 準備開始

- ・土地の権利関係上、認可地縁団体の取得及び会館の建て替えについて市民活動推進課と相談しながら検討を開始。

◇平成29年3月 総会での決定及び申請

- ・融資の申し込みする予定も併せて議決するとともに、寄付についても協力を呼びかけた。
- ・市民活動推進課あて申請書提出。

◇平成29年7月 融資決定

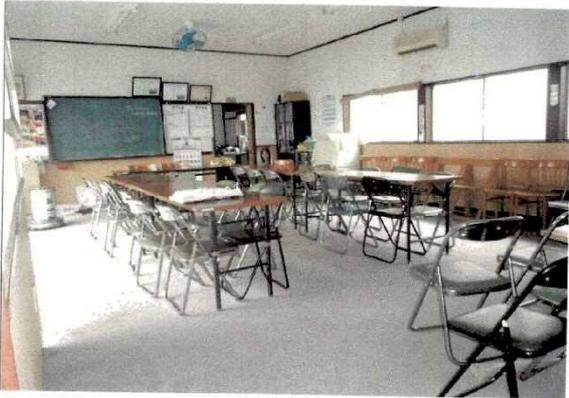
◇平成29年8月 交付決定及び着工

- ・建替中は会館が使えず、苦労したが、近隣の方々の御厚意で様々な場所を借りて活動を継続することができた。

◇平成29年12月 完成



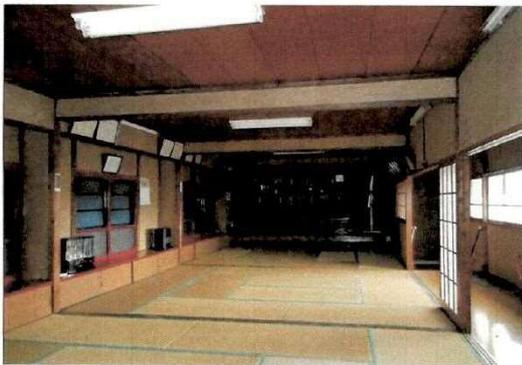
●主な整備箇所



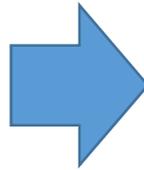
1階集会室（整備前）



1階集会室（整備後）



2階部分（整備前）



2階部分（整備後）

●利用者の反応・変化、会館利用の工夫など

<利用者の反応・変化>

・きれいになったと皆大喜び。階段の段差を低くしたり、フローリングにしたりして使い勝手がよくなった。エアコンも以前は無かったがこの度設置したことで、夏でも様々な活動ができています。

<会館利用の工夫など>

・既存の活動に加え、老人会、子ども会、子ども野球部等が活発に使っている。他にも神輿の保存会、消防団等にも使われており、多い月は10回も利用されている。防災時にも活用できるよう一定程度の備蓄の準備も始めた。

●特に大変だったこと、整備してよかったと思うこと

・費用面での折り合いがなかなかつかず、業者との調整に苦労した。寄付金も一度では目標額に届かなかったため二度集金に回り、特に地元の企業からも多くの寄付を頂いた。寄附を頂く際には一軒一軒役員が丁寧に説明して回った。

●これから申請する団体へのアドバイス

資金面のやりくりが最も大事。時間もかかるし、寄付を貰うことも簡単ではないので、日頃から積み立てるようにすることが大事です。

平成30年8月17日（金）、山口会長をはじめ役員の皆様にお話を伺いました。

問合せ先 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課

TEL : 044-200-2479

FAX : 044-200-3800

E-mail 25simin@city.kawasaki.jp